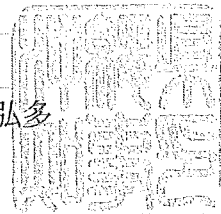


農計第2136号
平成23年2月10日

農林水産省農村振興局長 殿
(内閣府沖縄総合事務局長経由)

沖縄県知事 仲井眞 弘多



沖縄県における特認基準の変更について（提出）

このことについて、特認基準を変更したいので中山間地域等直接支払交付金実施要領の運用（平成12年4月1日付け12構改B第74号構造改善局長通知）の第3の12の(2)に基づき、下記関係書類を添えて提出する。

記

- 1 特認基準
別添1のとおり
- 2 農業生産条件の不利性を示すデータ
別添2のとおり

沖縄県特認基準の改正について（案）

改 正 （案）	現 行
1 特認基準 <u>沖縄本島から離れていることで農業生産条件の不利な農用地</u>	1 特認基準 <u>遠隔離島地にあることで農業生産条件の悪い農地</u>

中山間地域等直接支払事業 特認基準

平成23年2月10日 沖縄県農林水産部

1 特認基準

沖縄本島から離れていることで農業生産条件の不利な農用地

2 特認基準の必要性

沖縄県は、日本列島の南西端に位置し、東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域に点在する多くの離島から構成されている。そのうち、沖縄振興特別措置法により指定された離島(指定離島)は有人離島39、無人離島15の計54離島となり、県土面積の45%を占めている。

離島地域は、四方を海に囲まれ(環海性)、その面積も比較的狭く(狭小性)、しかも、沖縄の経済の中心である那覇市から遠く離れている(隔絶性)といった地理的及び自然的条件等の特性から、生活環境だけではなく、産業振興や経済発展など、あらゆる場面において様々な不利性を有している。

とりわけ農業分野においては、輸送コストの負担により農業資材が割高になるとともに、台風や干ばつなど自然災害の影響を受けやすく、また、そのことによって作付品目に制約がかかることもあるなど、特有の条件不利性を有している。

このような離島農用地においては、中山間地域等直接支払制度を活用し、農業生産活動の継続を支援することで、耕作放棄地の発生を防止するとともに、農村の持つ多面的機能の確保を図る必要がある。

3 特認基準の対象農用地及び地目別交付単価

(1) 特認基準の対象農用地

対象となる農用地は、生産コスト格差が認められた沖縄振興特別措置法(平成14年法律第14号)第3条第3項に基づき規定された「指定離島」のある次の市町村の農用地区域(農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)第8条第2項第1号に定める農用地区域)内の農用地とする。

なお、市町の一部が離島である場合は、その離島のみを対象とする。

市町村	対象地目
本部町(水納島)、伊江村、うるま市(津堅島)、久米島町	畑
南城市(久高島)、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、宮古島市、多良間村	畑・草地
伊平屋村、伊是名村、渡嘉敷村、石垣市、竹富町、与那国町	畑・草地・田

○生産コスト格差の算出方法

$$(\text{離島生産費} - \text{基準生産費}) \times 0.8^{(*)} > \text{緩傾斜単価}$$

*直接支払交付金の各単価は、生産コスト格差の8割として設定されているため。

○耕作放棄率の扱い

農業生産条件の不利な農用地の指標として、耕作放棄率が全国平均に比べて高い地域若しくは都道府県平均に比べて高い地域とされているが、これら離島の農用地は現時点での耕作放棄地率は低いものの、将来的には労働力不足により耕作放棄地が劇的に増加するおそれがあることからこれら離島の農用地を対象とする。

(2) 対象農用地における地目別交付単価

地目	畑	草地	田
交付単価 (10a当たり)	3,500円	3,000円	8,000円

中山間地域等直接支払制度の見直しにより、これまで緩傾斜単価に限定されていた特認農用地の交付単価が条件不利性により急傾斜単価に引き上げられるとともに、離島平地についても特認対象となったところであるが、本県においては、第1期、第2期に続き、平成22年度からの第3期対策についても緩傾斜単価により実施していること、また、交付対象農用地の拡大を優先とすることから、交付単価については緩傾斜単価に据え置くこととする。

参 考 資 料

(農業生産条件の不利性を示すデータ等)

1	特認基準対象市町村及び農用地面積	1
2	生産コスト格差の算出及び耕作放棄率について	3
3	地目別の生産コスト格差について	
	・畑(さとうきび)の生産コスト格差	9
	・草地(牧草)の生産コスト格差	13
	・田(水稻)の生産コスト格差	16
4	離島輸送費の積算根拠 (肥料費・光熱動力費・自動車費・農機具費)	18
5	さとうきび・水稻の生産実績(直近5年間)	23
6	離島市町村における耕作放棄地面積	25

特認基準対象市町村及び農用地区域内農用地面積(平成21年度末時点)

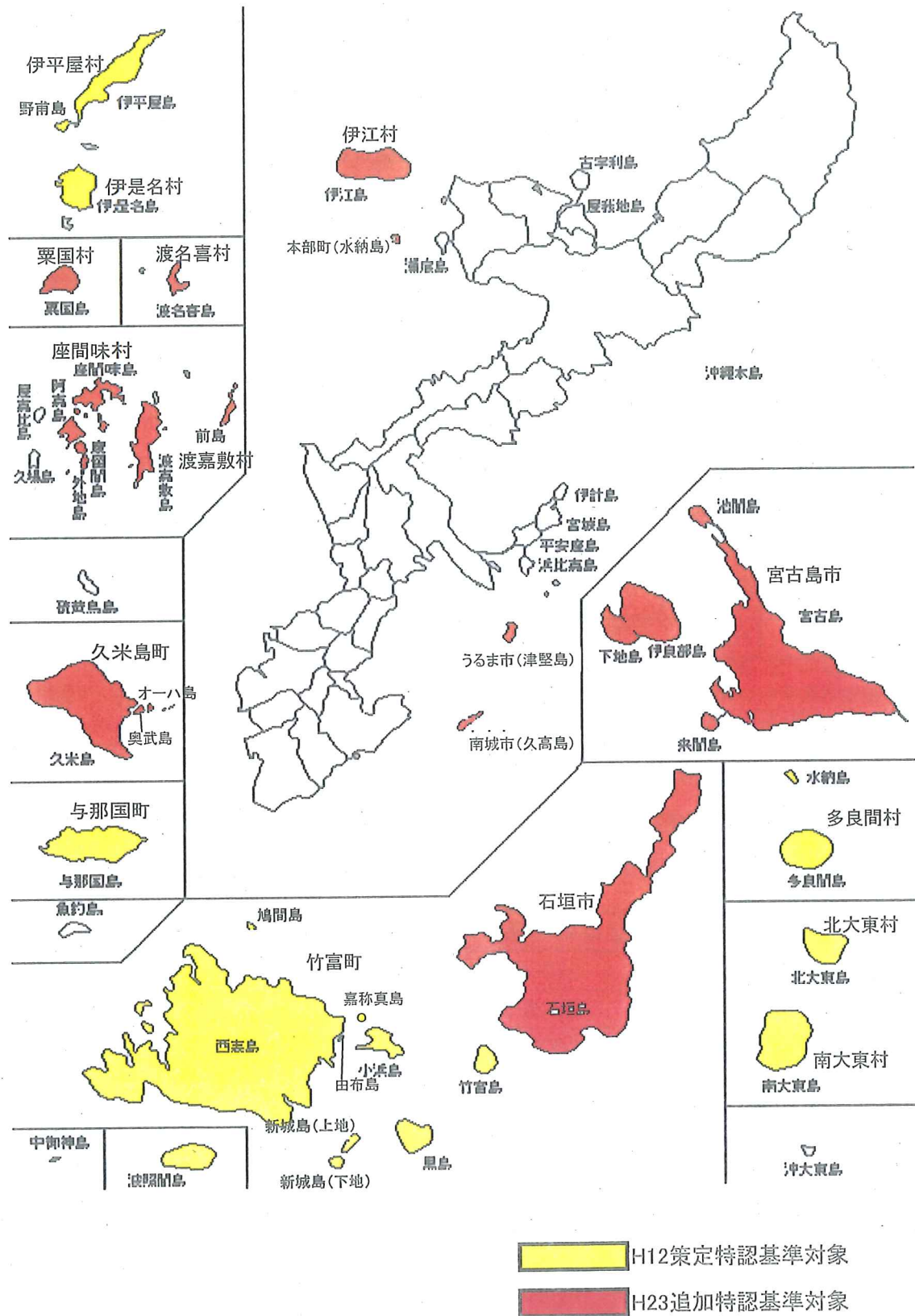
区分	市町村	農用地		中山間 実施面積 (H22)
		区域面積	農用地 面積	
本島	国頭村	3,775ha	595ha	—
本島	大宜味村	1,238ha	388ha	—
本島	東村	1,681ha	711ha	—
本島	今帰仁村	1,160ha	993ha	—
本島	本部町	1,672ha	845ha	—
離島	水納島		12ha	—
本島	名護市	3,854ha	1,832ha	20ha
本島	恩納村	809ha	310ha	—
本島	宜野座村	730ha	525ha	—
本島	金武町	875ha	249ha	—
離島	伊江村	776ha	724ha	—
離島	伊平屋村	523ha	337ha	175ha
離島	伊是名村	669ha	549ha	460ha
	北部計	17,762ha	8,058ha	654ha
本島	うるま市	1,842ha	1,612ha	—
離島	津堅島		87ha	—
本島	沖縄市	222ha	119ha	—
本島	読谷村	612ha	524ha	—
本島	嘉手納町	—	—	—
本島	北谷町	—	—	—
本島	北中城村	144ha	127ha	—
本島	中城村	371ha	353ha	—
本島	宜野湾市	—	—	—
本島	西原町	331ha	235ha	—
本島	浦添市	—	—	—
	中部計	3,522ha	2,970ha	0ha

区分	市町村	農用地		中山間 実施面積 (H22)
		区域面積	農用地 面積	
本島	那覇市	—	—	—
本島	豊見城市	330ha	303ha	—
本島	糸満市	2,022ha	1,600ha	—
本島	八重瀬町	1,094ha	941ha	—
本島	南城市	2,084ha	1,387ha	—
離島	久高島		68ha	—
本島	与那原町	59ha	54ha	—
本島	南風原町	153ha	125ha	—
離島	久米島町	2,647ha	1,704ha	—
離島	渡嘉敷村	174ha	16ha	—
離島	座間味村	96ha	15ha	—
離島	粟国村	494ha	243ha	—
離島	渡名喜村	65ha	28ha	—
離島	南大東村	1,917ha	1,751ha	1,740ha
離島	北大東村	677ha	550ha	523ha
	南部計	11,812ha	8,717ha	2,263ha
離島	宮古島市	11,651ha	10,251ha	—
離島	多良間村	1,992ha	1,184ha	265ha
	宮古計	13,643ha	11,435ha	265ha
離島	石垣市	11,721ha	8,327ha	—
離島	竹富町	5,850ha	3,596ha	0ha
離島	与那国町	1,153ha	996ha	430ha
	八重山計	18,724ha	12,919ha	430ha

沖縄県計	65,463ha	44,099ha	3,613ha
沖縄本島	25,058ha	13,661ha	20ha
対象離島	40,405ha	30,438ha	3,593ha
既対象町村	12,781ha	8,963ha	3,593ha
追加町村	27,624ha	21,475ha	0ha

資料:平成21年度 農業振興地域整備計画管理状況調査(沖縄県農政経済課まとめ)
市町村農業振興地域整備計画書

特認基準対象市町村



1 生産コスト格差の算出について

生産コスト格差の算出式（10a当たり）

$$(\text{離島生産費} - \text{基準生産費}) \times 0.8^{(*)} > \text{緩傾斜単価}$$

※直接支払交付金の各単価は、生産コスト格差の8割として設定されているため。

(1) 生産コスト格差の算出対象とした離島について

算出対象となる離島は広く分布していることから、交通や生活環境等が著しく不便な離島市町村から順に下記の区分に分けたうえで、各区分毎の輸送費、生産量等を算出した。

区分	市町村又は島名
特地A	南大東村、北大東村、多良間村
特地B	粟国村、渡名喜村、与那国町
特地C	伊平屋村、伊是名村、渡嘉敷村、座間味村、竹富町、南城市（久高島）
特地D	伊江村、久米島町、本部町（水納島）、うるま市（津堅島）
特地E	宮古島市
特地F	石垣市

※特地A～Fは、島内の交通機関の状況、その他生活環境等の実情により指定された県内における特地勤務手当の級地により区分。級地区分のない水納島は特地Dとした。
なお、市部（宮古島市、石垣市）については個別に算出した。

(2) 地目毎の代表作物と10a当たり交付単価について

直接支払交付金の対象となる地目毎の代表的な作物として、畑はさとうきび、草地は牧草、田は水稻を設定し、それぞれ生産コスト格差の算出を行った。

地目	作物	緩傾斜単価	備考
畑	さとうきび	3,500円	
草地	牧草	3,000円	
田	水稻	8,000円	※特地B、特地C、石垣市のみ

(3) 基準生産費の設定について

今回の特認基準の適用がない沖縄本島との比較とするため、基本的には、沖縄県の生産費を基準生産費と設定する。なお、牧草及び水稻については、沖縄県を対象とした生産費統計が無い場合、全国平均を基準生産費とした。

ア 畑（さとうきび）

さとうきびについては、沖縄県の10a当たり全算入生産費の直近5年中庸3年平均を基準生産費とした。

単位：円/10a

区分	H17	H18	H19	H20	H21	5中3
さとうきび (沖縄平均)	177,077	177,729	187,878	193,223	191,995	185,867

資料：農業経営統計調査－農作物生産費統計－さとうきび生産費統計（農林水産省）

イ 草地（牧草）

本県では肉用牛繁殖経営を主体としているが、農林水産省の統計には本県で最も作付けされている「ローズグラス－サイレージ」の記載が無く、それに代わる県独自の統計もないことから、同じイネ科牧草の「イタリアンライグラス－サイレージ」の費用価における直近5年中庸3年平均を基準生産費とした。

単位：円/10a

区分	H16	H17	H18	H19	H20	5中3
牧草 (全国平均)	49,773	40,322	40,870	42,146	45,618	42,878

資料：農業経営統計調査－畜産物生産費統計－肉用牛(子牛)生産費統計（農林水産省）

ウ 田（水稲）

県内離島地域は水田作が多いが、水稲については本県を対象とした生産費統計が無いため、全国10a当たり全算入生産費の直近5年中庸3年平均を基準生産費とした。

単位：円/10a

区分	H17	H18	H19	H20	H21	5中3
水稲 (全国平均)	146,687	143,538	140,030	146,754	143,434	144,553

資料：農業経営統計調査－農作物生産費統計－米生産費統計（農林水産省）

(4) 離島生産費の設定について

離島生産費は、全算入生産費の物材費のうち、海上輸送コストの自己負担により購入価格が割高となる肥料費、光熱動力費、自動車費、農機具費について、下記の式により基準生産費に加算することで求めた。

なお、農薬については、沖縄本島と同一価格（県営農支援課聞き取り）のため省略とした。

$$\text{離島生産費} = (\text{基準生産費} + \text{輸送コスト}(\ast)) \times \text{収量補正}$$

※沖縄本島から各離島までの輸送費を輸送コストとして計上した。

輸送コストについては、下記により対象離島への輸送費を調査した結果から、それぞれ10a当たりの金額に換算したものを用了。

なお、純粋な輸送コスト格差を測るため、各農業資材は全て同一(県平均)と設定した。

肥料費 : JAおきなわ資材部から肥料1袋(20kg)当たり輸送費を聞き取り

光熱動力費 : 離島における石油製品(軽油)の小売価格(H16~H20)
(離島関係資料 平成22年1月沖縄県地域・離島課)

自動車費、農機具費 : 離島航路の各事業者から輸送費を聞き取り

(5) 収量補正について

対象離島の収量が、基準生産費の対象地域(全国又は沖縄。以下「基準地域」という。)の収量より劣るさとうきび、水稻については、基準地域と同じ収量を得るために必要となる生産費となるよう、下記の統計及び計算式を用いて収量補正を行った上で、離島生産費を算出した。

なお、牧草については、基準地域と対象離島の品種や栽培体系が異なるため単純な収量比較ができないこと、沖縄県内の10a当たり収量に関する統計がないことから、補正を行わないこととした。

【統計資料名】

さとうきび : さとうきび及び甘しや糖生産実績(沖縄県農林水産部)

水 稻 : 作物統計-水稻(農林水産省)

【計算式】

収量補正 = 基準地域における10a当たり収量 ÷ 対象離島における10a当たり収量

(6) 生産コスト格差の算出結果

以上を踏まえ、離島区分毎の生産コスト格差を算出した結果は下記のとおりとなった。

離 島 区 分	生産コスト格差の8割額(円)		
	畑	草地	田(※)
特地A 南大東村、北大東村、多良間村	5,932	5,184	—
特地B 栗国村、渡名喜村、与那国町	78,682	3,425	103,716
特地C 伊平屋村、伊是名村、渡嘉敷村、座間味村、竹富町、南城市(久高島)	22,902	3,723	85,838
特地D 伊江村、久米島町、本部町(水納島)、うるま市(津堅島)	7,675	2,264	—
特地E 宮古島市	17,789	4,212	—
特地F 石垣市	33,078	4,132	99,219
緩 傾 斜 単 価	3,500	3,000	8,000

※田作物の作付が行われているのは、以下の市町村。

特地B: 与那国町

特地C: 伊平屋村、伊是名村、渡嘉敷村、竹富町

特地F: 石垣市

2 耕作放棄率について

本県全体の耕作放棄率は、平成21年時点で耕地面積に対して6.9%となっており全国の4.6%に比べ高い数値を示している。

なお、離島地域については平均で3.8%と県全体より低い数値であるが、これは既に本制度を導入している離島町村における耕作放棄率が非常に低いことから本制度の効果が見られること、並びに第1次産業、特に農業への依存度が高く、農業所得の確保のため農地の有効利用に努めてきた結果であると考えられる。

しかし、離島地域の農業就業人口は、県全体と同様に将来にわたり減少していくとともに高齢化が進むと予測され、現時点での耕作放棄率は低いものの、将来的には労働力不足により耕作放棄地が劇的に増加するおそれがある。

そのため、離島地域においては本制度を有効に活用し、計画的に農業従事者の確保に努める必要がある。

耕作放棄地の状況（平成21年）

	耕地面積(a)	耕作放棄地(b)	比率(b/a)
沖縄県計	39,139ha	2,693ha	6.9%
沖繩本島	13,110ha	1,706ha	13.0%
離 島	26,029ha	987ha	3.8%
特地A	3,352ha	0ha	0.0%
特地B	830ha	165ha	19.9%
特地C	2,847ha	114ha	4.0%
特地D	2,740ha	15ha	0.5%
特地E	10,800ha	463ha	4.3%
特地F	5,460ha	230ha	4.2%
うち直接支払 実施町村	4,901ha	82ha	1.7%
全 国	4,609,000ha	210,827ha	4.6%

資料：平成21年耕地面積（農林水産省）

平成21年度耕作放棄地全体調査（沖縄県農政経済課まとめ）

平成21年度の荒廃した耕作放棄地の現状調査の結果について（農林水産省）

※耕地面積が不明な水納島（耕作放棄地4.5ha）、津堅島（同22ha）、久高島（同0ha）は離島の内数に含めていない。

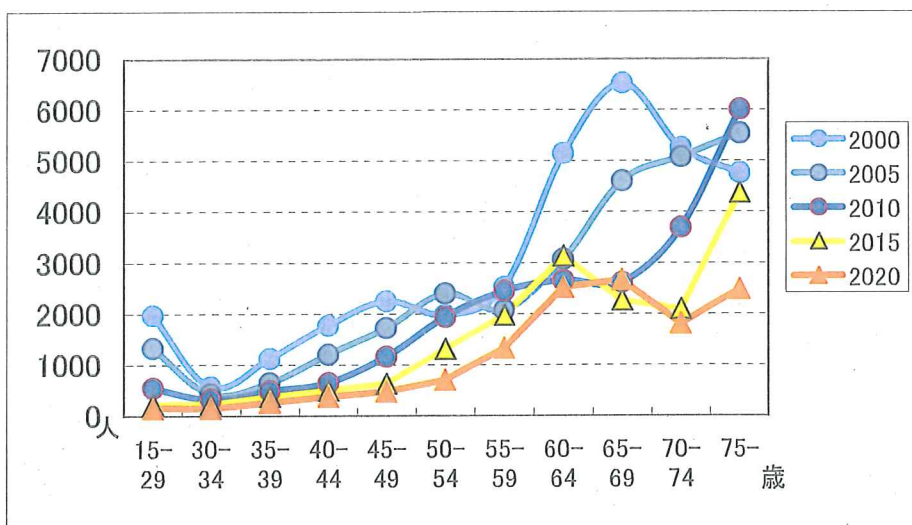
産業別就業者数（15歳以上）から見た第1次産業（農業）の割合

単位：人

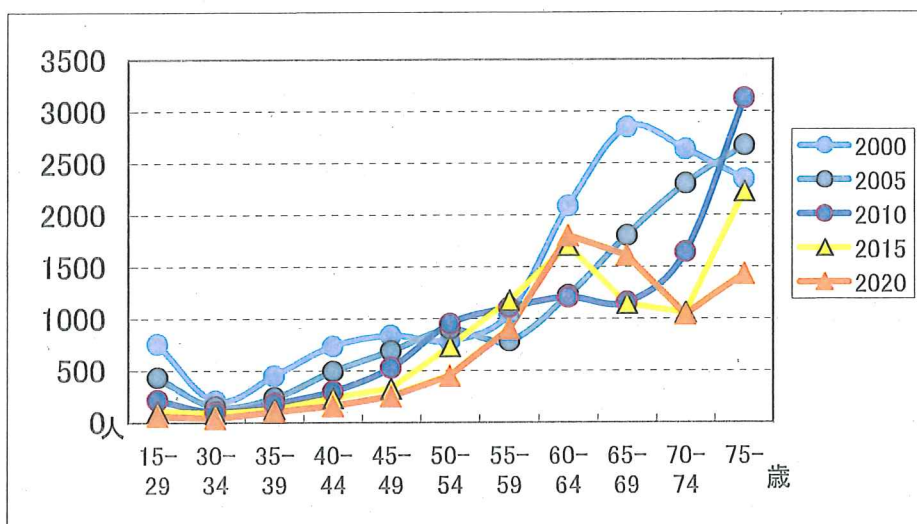
	平成12年				平成17年			
	総数	第1次 産業	農業	割合 (農業)	総数	第1次 産業	農業	割合 (農業)
沖縄県計	555,562	34,156	30,614	5.5%	560,477	32,873	29,609	5.3%
沖繩本島	495,333	21,684	19,308	3.9%	499,127	20,663	18,526	3.7%
離 島	60,229	12,472	11,306	18.8%	61,350	12,210	11,083	18.1%

資料：国勢調査報告（平成12年、平成17年）（総務省統計局）

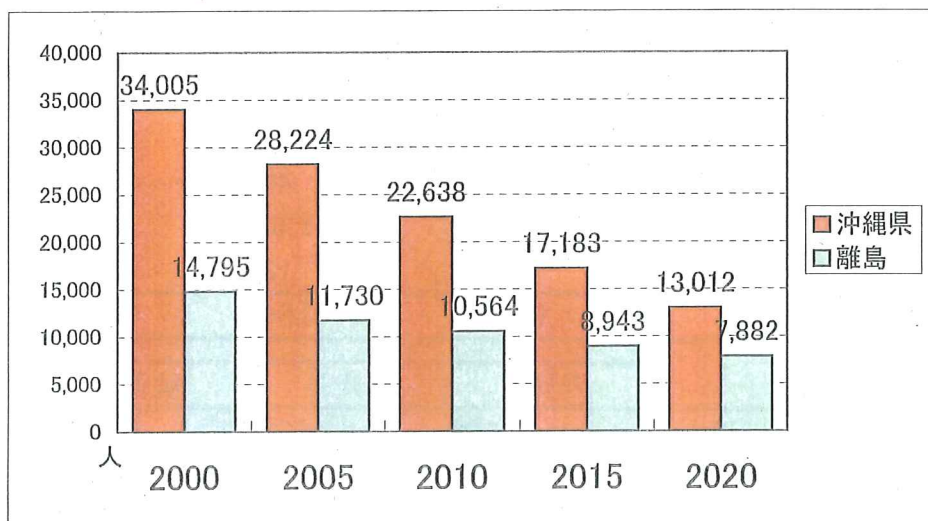
農業就業人口の推移と将来予測（沖縄県）



農業就業人口の推移と将来予測（離島）



農業就業人口の推移と将来予測（合計）



資料：2000-2010年農林業センサス(農林水産省、沖縄県企画部統計課)
 ※コーホート変化率法にて推計。15-29歳人口については、基準値(2010年)に減少率(2015年:2005-2010年、2020年:2000年-2010年)を乗じて推計。

《地目毎の生産コスト格差の算出について》

1 畑（さとうきび）の生産コスト格差について

(1) 輸送コストの考え方

ア 肥料費 = 10a当たり施肥量(7.3袋) × 1袋当たり輸送費(円)

対象離島への肥料1袋当たり輸送費に、「さとうきび栽培指針(平成18年3月沖縄県農林水産部)」及びJAおきなわ資材部への聞き取りを基に算出した10a当たり施肥量(袋)の県平均値を乗じた。

イ 光熱動力費 = 基準生産費(3,569円) × 離島上昇率(%)

光熱動力費の大半を占める燃料費について、「離島における石油製品の小売価格(H22離島関係資料(沖縄県地域・離島課))」を基に、直近5年中庸3年平均により沖縄本島と対象離島の燃料小売価格差(軽油)を比較した結果から、上昇率を乗じた。

ウ 自動車費 = 農用自動車(円/10a)

エ 農機具費 = 53PSトラクター(円/10a)

県内で普及率が高い農用自動車とトラクターについて、県内主要離島までの輸送コストを各航路の事業者から聞き取った結果を基に10a当たり年間償却費を算出した。

なお、トラクターの大きさについては、「沖縄県の農業機械(平成21年3月沖縄県農林水産部糖業農産課)」におけるトラクター平均馬力の算出結果(約40PS=Ⅱ類)を基に県内業者へ聞き取りした結果から、この区分の主流機種(53PSトラクター)を設定した。

(2) 生産コスト格差の算出内訳

ア 特地A

(193,282 - 185,867) × 0.8 = 5,932
--

単位:円/10a			
項目	基準生産費 (沖縄平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
物 材 費	57,031	3,316	60,347
①肥料費	12,517	1,570	14,087
②光熱動力費	3,569	286	3,855
③自動車費	2,756	1,324	4,080
④農機具費	8,434	137	8,571
全算入生産費	185,867	3,316	189,183

	沖縄県	特地A	補正值
⑤収量補正(kg/10a)	4,102	4,015	1.02167

収量補正後の生産費	189,183	× 4,102 ÷	4,015 =	193,282
-----------	---------	-----------	---------	---------

イ 特地B

$$(284,219 - 185,867) \times 0.8 = 78,682$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (沖縄平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
物 材 費	57,031	1,904	58,935
①肥 料 費	12,517	1,117	13,634
②光熱動力費	3,569	293	3,862
③自 動 車 費	2,756	447	3,203
④農 機 具 費	8,434	47	8,481
全算入生産費	185,867	1,904	187,771

	沖縄県	特地B	補正值
⑤収量補正(kg/10a)	4,102	2,710	1.51365

収量補正後の生産費	187,771	$\times 4,102 \div$	2,710	$=$	284,219
-----------	---------	---------------------	-------	-----	---------

ウ 特地C

$$(214,494 - 185,867) \times 0.8 = 22,902$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (沖縄平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
物 材 費	57,031	1,959	58,990
①肥 料 費	12,517	1,292	13,809
②光熱動力費	3,569	296	3,865
③自 動 車 費	2,756	336	3,092
④農 機 具 費	8,434	35	8,469
全算入生産費	185,867	1,959	187,826

	沖縄県	特地C	補正值
⑤収量補正(kg/10a)	4,102	3,592	1.14198

収量補正後の生産費	187,826	$\times 4,102 \div$	3,592	$=$	214,494
-----------	---------	---------------------	-------	-----	---------

工 特地D

$$(195,461 - 185,867) \times 0.8 = 7,675$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (沖縄平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
物 材 費	57,031	1,112	58,143
①肥 料 費	12,517	730	13,247
②光熱動力費	3,569	303	3,872
③自 動 車 費	2,756	71	2,827
④農 機 具 費	8,434	8	8,442
全算入生産費	185,867	1,112	186,979

	沖縄県	特地D	補正值
⑤収量補正(kg/10a)	4,102	3,924	1.04536

収量補正後の生産費	186,979	$\times 4,102 \div$	3,924	$=$	195,461
-----------	---------	---------------------	-------	-----	---------

オ 特地E

$$(208,104 - 185,867) \times 0.8 = 17,789$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (沖縄平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
物 材 費	57,031	2,299	59,330
①肥 料 費	12,517	1,460	13,977
②光熱動力費	3,569	282	3,851
③自 動 車 費	2,756	504	3,260
④農 機 具 費	8,434	53	8,487
全算入生産費	185,867	2,299	188,166

	沖縄県	特地E	補正值
⑤収量補正(kg/10a)	4,102	3,709	1.10596

収量補正後の生産費	188,166	$\times 4,102 \div$	3,709	$=$	208,104
-----------	---------	---------------------	-------	-----	---------

カ 特地F

$$(227,215 - 185,867) \times 0.8 = 33,078$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (沖縄平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
物 材 費	57,031	2,352	59,383
①肥 料 費	12,517	1,416	13,933
②光熱動力費	3,569	232	3,801
③自 動 車 費	2,756	638	3,394
④農 機 具 費	8,434	66	8,500
全算入生産費	185,867	2,352	188,219

	沖縄県	特地F	補正值
⑤収量補正(kg/10a)	4,102	3,398	1.20718

収量補正後の生産費	188,219	$\times 4,102 \div$	3,398	$=$	227,215
-----------	---------	---------------------	-------	-----	---------

2 草地（牧草）の生産コスト格差について

(1) 輸送コストの考え方

ア 肥料費 = 10a当たり施肥量（20.2袋） × 1袋当たり輸送費（円）

10a当たり施肥量（袋）は、「沖縄県畜産経営技術指標（平成13年4月沖縄県農林水産部）」のローズガラス栽培基準に基づき算出した。

イ その他材料費（光熱動力費） = 基準生産費（8,627円） × 離島上昇率（%）

光熱動力費の大半を占める燃料費について、「離島における石油製品の小売価格（H22離島関係資料（沖縄県地域・離島課）」）を基に、直近5年中庸3年平均により沖縄本島と対象離島の燃料小売価格差（軽油）を比較した結果から、上昇率を乗じた。

なお、「沖縄県畜産経営技術指標」において、牧草費用価を構成する費目が材料費（種子、肥料）、燃料費、労働費、固定財費のみであったことから、燃料費は材料費（その他）の額として算出した。

ウ 固定材費（自動車費・農機具費）

= 農用自動車（円/10a） + 80PSトラクター（円/10a）

県内で普及率が高い農用自動車とトラクターについて、10a当たり年間償却費を計上した。なお、牧草管理収穫に用いられるトラクターは一般的に80PS程度（沖縄県畜産課聞き取り）であることから、トラクターの大きさは80PSと設定した。

(2) 生産コスト格差の算出内訳

ア 特地A

$$(49,358 - 42,878) \times 0.8 = 5,184$$

単位：円/10a

項目	基準生産費 (全国平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
材料費	18,729	6,480	25,209
①肥料費	10,021	4,343	14,364
②その他材料費(光熱動力費)	8,627	690	9,317
固定財費(農機具・自動車費)	10,857	1,447	12,304
10a当たり費用価	42,878	6,480	49,358

イ 特地B

$$(47,159 - 42,878) \times 0.8 = 3,425$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (全国平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
材料費	20,525	4,281	24,806
①肥料費	10,021	3,091	13,112
②その他材料費(光熱動力費)	8,627	707	9,334
固定財費(農機具・自動車費)	10,857	483	11,340
10a当たり費用価	42,878	4,281	47,159

ウ 特地C

$$(47,531 - 42,878) \times 0.8 = 3,723$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (全国平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
材料費	20,525	4,653	25,178
①肥料費	10,021	3,575	13,596
②その他材料費(光熱動力費)	8,627	716	9,343
固定財費(農機具・自動車費)	10,857	362	11,219
10a当たり費用価	42,878	4,653	47,531

エ 特地D

$$(45,708 - 42,878) \times 0.8 = 2,264$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (全国平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
材料費	20,525	2,830	23,355
①肥料費	10,021	2,020	12,041
②その他材料費(光熱動力費)	8,627	733	9,360
固定財費(農機具・自動車費)	10,857	77	10,934
10a当たり費用価	42,878	2,830	45,708

オ 特地E

$$(48,144 - 42,878) \times 0.8 = 4,212$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (全国平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
材料費	20,525	5,266	25,791
①肥料費	10,021	4,040	14,061
②その他材料費(光熱動力費)	8,627	682	9,309
固定財費(農機具・自動車費)	10,857	544	11,401
10a当たり費用価	42,878	5,266	48,144

カ 特地F

$$(48,044 - 42,878) \times 0.8 = 4,132$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (全国平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
材料費	20,525	5,166	25,691
①肥料費	10,021	3,919	13,940
②その他材料費(光熱動力費)	8,627	561	9,188
固定財費(農機具・自動車費)	10,857	686	11,543
10a当たり費用価	42,878	5,166	48,044

3 田（水稲）の生産コスト格差について

(1) 輸送コストの考え方

ア 肥料費 = 10a当たり施肥量 (2.7袋) × 1袋当たり輸送費 (円)

10a当たり施肥量は、「北部地域(八重山地域)の水稲「ひとめぼれ」栽培ごよみ(沖縄県米穀種子協会)」の施肥例を参考に、県平均値を算出した。

イ 光熱動力費 = 基準生産費 (3,682円) × 離島上昇率 (%)

光熱動力費の大半を占める燃料費について、「離島における石油製品の小売価格(H22離島関係資料(沖縄県地域・離島課))」を基に、直近5年中庸3年平均により沖縄本島と対象離島の燃料小売価格差(軽油)を比較した結果から、上昇率を乗じた。

ウ 自動車費 = 農用自動車 (円/10a)

エ 農機具費 = 30PSトラクター (円/10a) + 4条田植機 (円/10a)
+ 4条コンバイン (円/10a)

水稲用農業機械として普及している農業機械については、沖縄県農業研究センター名護支所への聞き取りや「農業経営技術指標(平成11年3月沖縄県農林水産部)」を参考に、農用自動車とトラクター(30PS)に加え、4条田植機及び4条コンバインを設定し、10a当たり年間償却費を計上した。

(2) 生産コスト格差の算出内訳

ア 特地B

$(274,198 - 144,553) \times 0.8 = 103,716$
--

単位: 円/10a

項目	基準生産費 (全国平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
物 材 費	79,179	1,686	80,865
①肥料費	8,700	413	9,113
②光熱動力費	3,682	302	3,984
③自動車費	3,433	447	3,880
④農機具費	23,741	524	24,265
全算入生産費	144,553	1,686	146,239

	全 国	特地B	補正值
⑤収量補正(kg/10a)	525	280	1.87500

収量補正後の生産費	146,239	× 525 ÷	280 =	274,198
-----------	---------	---------	-------	---------

イ 特地C

$$(251,851 - 144,553) \times 0.8 = 85,838$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (全国平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
物 材 費	79,179	1,281	80,460
①肥 料 費	8,700	478	9,178
②光熱動力費	3,682	306	3,988
③自 動 車 費	3,433	336	3,769
④農 機 具 費	23,741	161	23,902
全算入生産費	144,553	1,281	145,834

	全 国	特地C	補正值
⑤収量補正(kg/10a)	525	304	1.72697

収量補正後の生産費	145,834	$\times 525 \div$	304	$=$	251,851
-----------	---------	-------------------	-----	-----	---------

ウ 特地F

$$(268,576 - 144,553) \times 0.8 = 99,219$$

単位:円/10a

項目	基準生産費 (全国平均)	輸送費	離島生産費 (換算値)
物 材 費	79,179	1,757	80,936
①肥 料 費	8,700	524	9,224
②光熱動力費	3,682	239	3,921
③自 動 車 費	3,433	638	4,071
④農 機 具 費	23,741	356	24,097
全算入生産費	144,553	1,757	146,310

	全 国	特地F	補正值
⑤収量補正(kg/10a)	525	286	1.83566

収量補正後の生産費	146,310	$\times 525 \div$	286	$=$	268,576
-----------	---------	-------------------	-----	-----	---------

離島輸送費の積算根拠（肥料費：さとうきび施肥量）

地域/離島	主な土壌型	主な作型	3要素成分量 (N・P ₂ O ₅ ・K ₂ O) (kg/10a)	主要銘柄(成分)	施肥量 (BB666:袋/10a)				収穫面積 (ha)	加重係数 (収穫面積) ②	加重平均 (①×②) ア
					基肥	追肥					
						1回	2回	3回			
北部											
本島	国頭マーシ	株出	23・11・11	BB666(16-6-6)	2	2	3	7袋	1,223	0.0986	0.69
伊平屋村	国頭マーシ	夏植	27・12・12	BB666(16-6-6)	2.5	2	2	8.5袋	85	0.0069	0.06
伊是名村	島尻マーシ	株出	22・7・7	BB666(16-6-6)	2	2	3	7袋	361	0.0291	0.20
伊江村	島尻マーシ	株出	22・7・7	BB666(16-6-6)	2	2	3	7袋	103	0.0083	0.06
中部	ジャーガル	株出	22・9・6	BB666(16-6-6)	2	2	3	7袋	858	0.0692	0.48
南部											
本島	ジャーガル	株出	22・9・6	BB666(16-6-6)	2	2	3	7袋	1,685	0.1358	0.95
久米島町	国頭マーシ	株出	23・11・11	BB666(16-6-6)	2	2	3	7袋	936	0.0755	0.53
粟国村	島尻マーシ	夏植	24・8・8	BB458(14-5-8)				9袋	18	0.0015	0.01
南大東村	国頭マーシ	株出	23・11・11	BB666(16-6-6)	2	2	3	7袋	1,266	0.1021	0.71
北大東村	国頭マーシ	株出	23・11・11	BB666(16-6-6)	2	2	3	7袋	418	0.0337	0.24
宮古											
宮古島市(本島)	島尻マーシ	夏植	24・8・8	化成804(18-10-14)	-	-	-	7袋	2,906	0.2343	1.64
宮古島市(伊良部)	島尻マーシ	夏植	24・8・8	化成804(18-10-14)	-	-	-	7袋	751	0.0605	0.42
多良間村	島尻マーシ	夏植	24・8・8	化成804(18-10-14)	-	-	-	7袋	285	0.0230	0.16
八重山											
石垣市	国頭マーシ	夏植	27・12・12	BB666(16-6-6)	2.5	2	2	8.5袋	1,086	0.0875	0.74
竹富町(小浜)	国頭マーシ	夏植	27・12・12	BB666(16-6-6)	2.5	2	2	8.5袋	49	0.0040	0.03
竹富町(西表)	国頭マーシ	夏植	27・12・12	BB666(16-6-6)	2.5	2	2	8.5袋	108	0.0087	0.07
竹富町(波照間)	島尻マーシ	夏植	24・8・8	BB666(16-6-6)	2	1.5	2	4	178	0.0143	0.14
与那国町	国頭マーシ	夏植	27・12・12	BB666(16-6-6)	2.5	2	2	8.5袋	89	0.0072	0.06
県計									12,405	1.0000	7.3袋

※主な土壌型、主な作型、3要素成分量、施肥量は、「さとうきび栽培指針(平成18年3月沖縄県農林水産部)」に基づく。なお、粟国村、宮古島市の施肥量については、窒素量から算出。各地域の主要銘柄は、JAおきなわ資材部からの聞き取りによる。

離島輸送費の積算根拠（肥料費：牧草施肥量）

	基肥				追肥				施肥量合計 (袋/10a) (①+②)		
	施肥量(kg/10a)		施肥量(袋/10a)		施肥量(kg/10a)		1回当たり 施肥量 (袋/10a)				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	①	N	P2O5	K2O	②			
ローズグラス	5	10	5	1.6袋	10	4	8	3.1袋	6	18.6袋	20.2袋

※施肥量及び刈取回数は、「沖縄県畜産経営技術指標（平成13年4月沖縄県農林水産部）-ローズグラス」の栽培基準に基づく。
肥料の銘柄はさとうきびの主要銘柄と同じ(BB666)とし、1袋当たり窒素量(3.2kg)から必要となる施肥量を算出した。

離島輸送費の積算根拠（肥料費：水稻施肥量）

	基肥		追肥		穂肥		施肥量合計 (袋/10a) (①~③)	作付面積 (ha)	加重係数 (收穫面積)	加重平均 (①×②)
	施肥量 (袋/10a) ①	施肥量 (袋/10a) ②	施肥量 (袋/10a) ③	施肥量 (袋/10a) ③	施肥量 (袋/10a) ③					
北部								300	了	
1期作	1.4袋 (28kg)	1.4袋 (28kg)	0.7袋 (14kg)	3.5袋	216	0.2291	0.80			
2期作	1.5袋 (30kg)	1.5袋 (30kg)	0.0袋 (なし)	3.0袋	84	0.0891	0.27			
八重山					626					
1期作	1.25袋 (25kg)	0.75袋 (15kg)	0.5袋 (10kg)	2.5袋	451	0.4780	1.19			
2期作	1.0袋 (20kg)	1.0袋 (20kg)	0.0袋 (なし)	2.0袋	175	0.1858	0.37			
県計					943	1.0000	2.7袋			

※施肥量は、「北部地域(八重山地域)の水稻ひとめほれ栽培こよみ(沖縄県米穀種子協会)」の施肥例に基づく。
肥料の銘柄は水稻肥料オール14(成分:14-14-14)

離島輸送費の積算根拠（肥料費：1袋当たり輸送費）

区分名	特地A 平均	特地B 平均	特地C 平均	特地D 平均	特地E 平均	特地F 平均
1袋(20kg)当たり 輸送費(円)	215	153	177	100	200	194

各区分の1袋当たり輸送費は、JAおきなわ資材部からの聞き取りによる。

離島輸送費の積算根拠（光熱動力費）

軽油の小売価格（平成16～20年）

単位:円/L

	H16	H17	H18	H19	H20	5中3	上昇率
特地 A 平均	98.7	113.0	122.7	132.7	147.3	122.8	8.0%
特地 B 平均	97.0	113.0	123.3	132.7	147.0	123.0	8.2%
特地 C 平均	96.7	108.9	125.3	135.1	150.4	123.1	8.3%
特地 D 平均	97.5	111.5	124.5	134.0	149.5	123.3	8.5%
特地 E 平均	101.0	113.0	121.0	134.0	143.5	122.7	7.9%
特地 F 平均	92.0	110.0	121.0	132.0	143.0	121.0	6.5%
本島平均	92.0	105.0	113.0	123.0	125.0	113.7	0%

資料:離島における石油製品の小売価格(H22離島関係資料(沖縄県地域・離島課))

水納島、津堅島、久高島については5年全ての統計が揃っていないため、平均には含めていない。

《離島区分》

区分	市町村又は島名
特地 A	南大東村、北大東村、多良間村
特地 B	粟国村、渡名喜村、与那国町
特地 C	伊平屋村、伊是名村、渡嘉敷村、座間味村、竹富町、南城市(久高島)
特地 D	伊江村、久米島町、本部町(水納島)、うるま市(津堅島)
特地 E	宮古島市
特地 F	石垣市

離島輸送費の積算根拠（自動車費・農機具費）

10a 当たり年間償却費の算出結果

特地A（南大東村、北大東村、多良間村）

地域/離島	農用自動車 (軽トラック)	30PS トラクター	53PS トラクター	80PS トラクター	4条 田植機	4条 コンバイン
①離島輸送費	109,697	81,872	109,697	164,603	—	—
②償却額(=①×90%)	98,727	73,685	98,727	148,143	—	—
③耐用年数	4	8	8	8	—	—
④年間償却額(②÷③)	24,682	9,211	12,341	18,518	—	—
⑤稼働面積(ha)	1.5	7	9	15	—	—
⑥10a負担率(10a÷⑤)	6.7%	1.4%	1.1%	0.7%	—	—
⑦農業利用率	80.0%	—	—	—	—	—
10a当たり年間償却費 (=④×⑥×⑦)	1,324	132	137	123	—	—

特地B（粟国村、渡名喜村、与那国町）

地域/離島	農用自動車 (軽トラック)	30PS トラクター	53PS トラクター	80PS トラクター	4条 田植機	4条 コンバイン
①離島輸送費	37,039	37,642	37,642	47,440	67,421	112,749
②償却額(=①×90%)	33,335	33,878	33,878	42,696	60,679	101,474
③耐用年数	4	8	8	8	8	8
④年間償却額(②÷③)	8,334	4,235	4,235	5,337	7,585	12,684
⑤稼働面積(ha)	1.5	7	9	15	3	6
⑥10a負担率(10a÷⑤)	6.7%	1.4%	1.1%	0.7%	3.3%	1.7%
⑦農業利用率	80.0%	—	—	—	—	—
10a当たり年間償却費 (=④×⑥×⑦)	447	60	47	36	253	211

特地C（伊平屋村、伊是名村、渡嘉敷村、座間味村、竹富町、南城市(久高島)）

地域/離島	農用自動車 (軽トラック)	30PS トラクター	53PS トラクター	80PS トラクター	4条 田植機	4条 コンバイン
①離島輸送費	27,847	28,237	28,237	35,093	17,035	27,777
②償却額(=①×90%)	25,063	25,414	25,414	31,584	15,332	25,000
③耐用年数	4	8	8	8	8	8
④年間償却額(②÷③)	6,266	3,177	3,177	3,948	1,916	3,125
⑤稼働面積(ha)	1.5	7	9	15	3	6
⑥10a負担率(10a÷⑤)	6.7%	1.4%	1.1%	0.7%	3.3%	1.7%
⑦農業利用率	80.0%	—	—	—	—	—
10a当たり年間償却費 (=④×⑥×⑦)	336	45	35	26	64	52

特地D（伊江村、久米島町、本部町（水納島）、うるま市（津堅島））

地域/離島	農用自動車 (軽トラック)	30PS トラクター	53PS トラクター	80PS トラクター	4条 田植機	4条 コンバイン
①離島輸送費	5,848	6,095	6,095	7,730	—	—
②償却額(=①×90%)	5,263	5,486	5,486	6,957	—	—
③耐用年数	4	8	8	8	—	—
④年間償却額(②÷③)	1,316	686	686	870	—	—
⑤稼働面積(ha)	1.5	7	9	15	—	—
⑥10a負担率(10a÷⑤)	6.7%	1.4%	1.1%	0.7%	—	—
⑦農業利用率	80.0%	—	—	—	—	—
10a当たり年間償却費 (=④×⑥×⑦)	71	10	8	6	—	—

特地E（宮古島市）

地域/離島	農用自動車 (軽トラック)	30PS トラクター	53PS トラクター	80PS トラクター	4条 田植機	4条 コンバイン
①離島輸送費	41,784	42,034	42,034	53,482	—	—
②償却額(=①×90%)	37,606	37,831	37,831	48,134	—	—
③耐用年数	4	8	8	8	—	—
④年間償却額(②÷③)	9,401	4,729	4,729	6,017	—	—
⑤稼働面積(ha)	1.5	7	9	15	—	—
⑥10a負担率(10a÷⑤)	6.7%	1.4%	1.1%	0.7%	—	—
⑦農業利用率	80.0%	—	—	—	—	—
10a当たり年間償却費 (=④×⑥×⑦)	504	68	53	40	—	—

特地F（石垣市）

地域/離島	農用自動車 (軽トラック)	30PS トラクター	53PS トラクター	80PS トラクター	4条 田植機	4条 コンバイン
①離島輸送費	52,826	52,826	52,826	64,449	40,121	64,449
②償却額(=①×90%)	47,543	47,543	47,543	58,004	36,109	58,004
③耐用年数	4	8	8	8	8	8
④年間償却額(②÷③)	11,886	5,943	5,943	7,251	4,514	7,251
⑤稼働面積(ha)	1.5	7	9	15	3	6
⑥10a負担率(10a÷⑤)	6.7%	1.4%	1.1%	0.7%	3.3%	1.7%
⑦農業利用率	80.0%	—	—	—	—	—
10a当たり年間償却費 (=④×⑥×⑦)	638	85	66	48	150	121

(注1)各農業機械は、平成19年3月31日以前に資産を取得したものとみなし、耐用年数8年(農用自動車のみ4年)、残存価格10%と設定して年間償却額を算出した。(平成19、20年度税制改正前の償却方法)

(注2)1台当たりの稼働面積(⑤)は、「沖縄県特定高性能農業機械導入計画(平成21年3月11日沖縄県公表)」の下限面積に基づく。なお、農用自動車については2005年農林業センサスから1戸当たり経営耕地面積を算出し(25,362ha(販売農家経営耕地面積)÷17,004戸(販売農家戸数))、稼働面積とした。

(注3)農用自動車の農業利用率(⑦)は、「品目別技術体系・収益性事例(平成22年12月沖縄県農林水産部)」等の事例を参考に、利用率80%として設定した。

さとうきび生産実績（平成16/17年～平成20/21年）

地域/市町村	H16/17年			H17/18年			H18/19年			H19/20年			H20/21年			5中3
	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	生産量 (t)	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	生産量 (t)	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	生産量 (t)	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	生産量 (t)	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	生産量 (t)	
県計	18,092	3,753	678,967	18,839	3,806	679,449	18,793	3,944	741,284	18,416	4,609	848,802	18,150	4,859	884,936	4,102
特 地 A	2,384	2,688	64,008	2,144	2,759	59,159	2,170	3,787	82,187	2,309	5,497	126,925	2,358	5,633	132,828	
南大栗村	1,427	2,972	42,406	1,307	2,226	29,100	1,246	3,641	45,366	1,337	5,784	77,336	1,367	6,210	84,897	4,015
北大栗村	392	2,198	8,618	285	2,173	6,192	394	3,551	13,989	427	5,176	22,103	434	5,523	23,968	
多良間村	562	2,310	12,984	552	4,324	23,867	530	4,308	22,832	545	5,043	27,486	557	4,302	23,963	
特 地 B	209	2,520	5,267	190	2,561	4,866	200	2,966	5,931	211	3,959	6,436	194	2,603	5,050	2,710
栗園村	28	3,446	965	28	2,457	688	31	2,426	752	35	4,280	1,498	39	4,397	1,715	
与那国町	181	2,377	4,302	162	2,579	4,178	169	3,064	5,179	176	2,806	4,938	155	2,152	3,335	
特 地 C	1,326	3,497	46,367	1,289	2,994	38,552	1,260	3,321	41,844	1,207	3,959	47,781	1,211	4,012	49,585	3,592
伊平屋村	133	2,369	3,151	132	1,770	2,336	141	2,467	3,479	134	3,831	5,134	144	3,410	4,911	
伊是名村	435	4,291	18,664	432	3,201	13,828	439	3,803	16,693	420	4,686	19,880	424	5,763	24,437	
竹富町	758	3,239	24,552	725	3,088	22,388	680	3,187	21,672	653	3,517	22,967	643	2,992	19,237	
特 地 D	1,472	3,568	52,519	1,432	3,474	49,744	1,484	3,799	56,370	1,407	4,407	62,003	1,354	5,564	75,304	3,924
伊江村	109	4,081	4,448	145	1,052	1,526	179	3,875	6,937	175	4,369	7,646	183	4,525	8,281	
久米島町	1,363	3,527	48,071	1,287	3,747	48,218	1,305	3,788	49,433	1,232	4,412	54,357	1,171	5,723	67,020	
特 地 E (宮古島市)	7,467	2,741	20,470	7,233	3,406	24,639	7,181	3,585	25,743	7,126	4,257	30,378	6,890	4,134	28,486	3,709
特 地 F (石垣市)	2,282	3,393	77,427	2,177	3,084	66,713	2,114	3,256	68,834	1,948	4,126	80,383	1,947	3,544	68,996	3,398

資料：さとうきび及びびび甘しや糖生産実績（沖縄県農林水産部）

水稲生産実績 (平成17年産～平成21年産)

地域/市町村	H17			H18			H19			H20			H21			5中3
	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	収穫量 (t)	
県 計	1,060	283	3,000	1,040	291	3,030	1,020	282	2,880	1,010	313	3,160	943	306	2,890	294
全 国 計	1,702,000	532	9,062,000	1,684,000	507	8,546,000	1,669,000	522	8,705,000	1,624,000	543	8,815,000	1,621,000	522	8,466,000	525
特 地 A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特 地 B	83	186	154	75	254	191	77	323	401	74	305	225	70	281	198	280
与那国町	83	186	154	75	254	191	77	323	401	74	305	225	70	281	198	
特 地 C	351	291	1,021	335	300	1,005	316	281	818	307	354	1,078	285	322	917	
伊平屋村	165	307	506	163	298	486	146	250	365	139	365	507	123	342	421	
伊是名村	94	311	292	85	302	257	61	358	220	58	376	216	57	354	202	
渡嘉敷村	8	312	26	10	249	25	9	253	23	10	263	27	9	236	22	
竹富町	84	235	197	77	307	237	100	310	310	100	328	328	96	283	272	
特 地 D	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
久米島町	×	×	×	×	196	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
特 地 E (宮古島市)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特 地 F (石垣市)	500	284	1,420	500	286	1,430	500	262	1,310	500	289	1,450	460	340	1,430	286

資料:作物統計 水稲(農林水産省)

離島市町村における耕作放棄地の状況（平成21年度）

市町村	耕作放棄地	市町村	耕作放棄地
沖繩本島北部	938ha	宮古島市	463ha
本部町(水納島)	5ha	多良間村	0ha
伊江村	0ha	宮古計	463ha
伊平屋村	17ha	石垣市	230ha
伊是名村	0ha	竹富町	94ha
北部計	955ha	与那国町	65ha
沖繩本島中部	383ha	八重山計	389ha
うるま市(津堅島)	22ha		
中部計	405ha	沖繩県計	2,693ha
沖繩本島南部	363ha	沖繩本島	1,706ha
南城市(久高島)	0ha	離島	987ha
久米島町	15ha		
渡嘉敷村	0ha	全国	210,827ha
座間味村	3ha		
栗国村	98ha		
渡名喜村	2ha		
南大東村	0ha		
北大東村	0ha		
南部計	481ha		

(参考) 平成21年 耕地面積

市町村	耕地面積	市町村	耕地面積
沖繩本島北部	5,526ha	宮古島市	10,800ha
本部町(水納島)	—	多良間村	964ha
伊江村	1,090ha	宮古計	11,764ha
伊平屋村	342ha	石垣市	5,460ha
伊是名村	542ha	竹富町	1,940ha
北部計	7,500ha	与那国町	665ha
沖繩本島中部	2,950ha	八重山計	8,065ha
うるま市(津堅島)	—		
中部計	2,950ha	沖繩県計	39,139ha
沖繩本島南部	4,634ha	沖繩本島	13,110ha
南城市(久高島)	—	離島	26,029ha
久米島町	1,650ha		
渡嘉敷村	15ha	全国	4,609,000ha
座間味村	8ha		
栗国村	145ha		
渡名喜村	20ha		
南大東村	1,830ha		
北大東村	558ha		
南部計	8,860ha		

※本部町(水納島)、うるま市(津堅島)、南城市(久高島)は離島の内数に含めていない。
 資料:平成21年度 耕作放棄地全体調査(沖繩県農政経済課まとめ)
 平成21年度の荒廃した耕作放棄地の現状調査の結果について(農林水産省)

資料:平成21年 耕地面積(農林水産省)